

選択的評価基準 正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況

(1) 観点ごとの自己評価

観点1-1: 大学の教育サービスの目的に照らして、目的を達成するためにふさわしい、計画や具体的方針が定められているか。また、これらの目的と計画が周知されているか。

【観点到係る状況】

正規課程の学生以外に対する大学の教育サービスの目的は、中期目標に明示され、それを達成するための計画や具体的方針は中期計画及び年度計画(資料 S-1-1-1)として定めている。これらについて、学内に対しては、職員連絡会(資料 S-1-1-2)を通じて説明するとともに、学内専用ホームページに掲載(資料 S-1-1-3)し、周知している。学外に向けては、中期目標等を大学公式ホームページに掲載し公表するとともに、教育サービスの目的を明示した大学概要(資料 S-1-1-4)及び大学案内(冊子)を様々な機会を利用して配布することにより周知している。

資料 S-1-1-1	* 正規課程の学生以外に対する大学の教育サービスに係る中期目標、中期計画等
資料 S-1-1-2	* 職員連絡会規則、平成 16 年度第 1 回職員連絡会次第
資料 S-1-1-3	* 教育サービスの目的の周知(事務局ホームページ Topics)
資料 S-1-1-4	* 基本理念、本学の特色(参考資料 1-3 「大学概要 2005(大学の組織・機構)」)

【分析結果とその根拠理由】

正規課程の学生以外に対する大学の教育サービスの目的は、中期目標に明示され、それを達成するための計画や具体的方針は中期計画及び年度計画として定めている。これらを全職員を構成員とする職員連絡会において説明、ホームページに掲載、大学概要及び大学案内(冊子)を配付することにより、学内外関係者に対して周知している。

観点1-2: 計画に基づいた活動が適切に実施されているか。

【観点到係る状況】

本学が実施している正規課程の学生以外に対する教育サービスの活動を、大学機関別認証評価・自己評価書の「選択的評価基準に係る目的」(P4)に記載している「教育サービスの目標・計画」を整理すると資料 S-1-2 のとおりとなる。これらの、主な活動状況について以下に示す。

1 地域社会への貢献のための体制整備

地域社会との連携や支援事業を促進するために、平成 14 年 7 月に「地域連携推進室」を設置し、法人化の際に見直し、室長 1 名、室員 1 名と事務職員が一体となった「地域連携室」を平成 16 年 4 月に設置(資料 S-1-2-1-1～3)するとともに、地域へ向けての市民講座、情報発信、地域連携事業、産学官交流等を推進するために、豊橋駅前に「サテライト・オフィス」を平成 16 年 9 月に設置(S-1-2-2-1～5)した。さらに、地域社会への教育サービスを拡充するため、平成 17 年 3 月から 4 月にかけて豊橋市、田原市、鳳来町及び愛知大学の 4 機関と「包括協定」を締結し、併せて双方の委員からなる 4 つの「協議会」を設置(S-1-2-3-1)して、体制の整備を図った。

2 大学が有する知や研究成果を活用した、教育・文化の向上、地域社会の活性化への貢献

地域文化の振興に資するため、一般市民を対象とした「一般公開講座」(資料 S-1-2-4-1~4)を昭和 53 年度から、主に高校生を対象に大学を 1 日開放し、体験学習・研究室公開及び大学入試案内等を行う「オープンキャンパス」(資料 S-1-2-5-1~4)を昭和 59 年度から実施するとともに、市民の生涯学習、リフレッシュ教育に寄与するため、附属図書館の市民への開放は平成元年度から実施(資料 S-1-2-6-1~4)し、平成 17 年 6 月からは豊橋市図書館と連携協力し本学の図書館を通じて、豊橋市図書館の図書の貸出を受けることができることとなり、すでに 8 冊の貸出実績がある。また、現代的教育ニーズ取組支援プログラム「地域協働型工房教育プログラムの開発と実践 - 地域社会を想う実践的創造的技術者養成を目指して - 」により、地域の課題を取り上げた卒業研究テーマを一般市民から募集(公募型卒業研究)し、17 件の応募があり、そのうち 6 件が採択され、地域社会の活性化に貢献している(資料 S-1-2-7-1~4)。

社会人に対しては、特に企業等の技術者・研究者を対象に、研究成果を紹介し、地域産業の活性・発展に寄与する「技術セミナー」(資料 S-1-2-8-1~3)を昭和 59 年度から、大学院レベルの講義「ミニ大学院アフターファイブコース」(資料 S-1-2-9-1~4)を昭和 63 年度から、実験や実習主体に知識や技術の学習能力向上を図る「技術者養成研修」(資料 S-1-2-10-1~3)を平成 2 年度から行っている。さらに、「集積回路技術講習会」(資料 S-1-2-11-1~2)を昭和 56 年度から実施しているが、社会人を対象とし、自分で IC チップを試作する講習会は国内では類を見ない。また、リフレッシュ教育の一環として「科目等履修生制度」(資料 S-1-2-12-1)を平成 5 年度から導入している。なお、平成 16 年度の「ミニ大学院アフターファイブコース」は、新たに設置した豊橋駅前の「サテライト・オフィス」を会場に実施した。

小、中、高等学校に対しては、文部科学省が科学技術・理科・数学教育の充実のために推進する、科学技術・理科大好きプランの一環である「サイエンス・パートナーシップ・プログラム事業」(資料 S-1-2-13-1~4)を 2 校の高等学校と連携して平成 14 年度から 17 年度にかけて行った。受験一色の高校生を対象に、2 年生全員が本学の研究室で先端研究を体験する意味は大きい。化学分野における学習意欲の向上と創造性、知的好奇心、探求心を育成することを目的とする「化学公開講座」(資料 S-1-2-14-1~2)を日本化学会と共催して平成 16 年度に、「理科・数学離れ」、「ものづくり離れ」の対策に資するため「Jr.サイエンス講座」(資料 S-1-2-15-1~2)を豊橋市教育委員会と共催して平成 15 年度から 16 年度にかけて実施している。

工業高校における技術教育のレベルアップを図るため「工業高等学校教員向け技術講習会」(資料 S-1-2-16-1~2)を昭和 63 年度に開始し、平成 14 年度まで毎年度実施してきた。今年度、工業高等学校側の意見を聞きながら、より充実した内容で再開に向けて検討を進めている。その他、高等学校の教員と協力して情報に関する実習形式の「豊橋技術科学大学情報講習会」(資料 S-1-2-17-1)を平成 16 年度に実施した。

また、地域の課題である「防災対策」への取組として、平成 15 年度から本学を研究担当機関とする「東三河地域防災協議会」の活動として、地震防災セミナー、シンポジウム、自治体職員研修等の各種事業を主体的に担っている(資料 S-1-2-18-1~3)。

その他、地元の「産学官交流サロン」(資料 S-1-2-19-1~2)、「市民大学講座」(資料 S-1-2-20-1)や高等学校に講師(資料 S-1-2-21-1)を派遣するとともに、愛知県の生涯学習に協力するため県の生涯学習講座講師名簿には現在、講師以上の教員の約 4 割の 62 名が登録(資料 S-1-2-22-1~2)している。

3 高等専門学校の資質の向上、発展に向けての連携強化

高等専門学校への情報発信、本学教員による高等専門学校訪問の充実と、高等専門学校の教育・研究内容及び高等専門学校生の進路状況の分析を行うために、平成 15 年 5 月に「高専連携推進室」を設置し、法人化の際に見直し、室長 1 名、室員 1 名と事務職員が一体となった「高専連携室」を平成 16 年 4 月に設置(資料 S-1-2-1-1~

3)した。

高等専門学校生を対象に、学校教育の充実及び高等専門学校の学習意欲喚起等を目的として、教育研究分野の実習を体験させる「高等専門学校体験実習」(資料 S-1-2-23-1～6)を平成 11 年度から実施し、毎年 150 名程度の学生を受け入れている。全員が学内宿泊施設に滞在し、研究室で約 2 週間、最新の研究に従事している。

高等専門学校教員を対象に、高等専門学校の情報処理教育の充実を図るため、「高等専門学校情報処理教育担当者上級講習会」(資料 S-1-2-24-1～4)を平成元年度から実施している。

また、平成 9 年度から、MUPS 推進事業により地元の 3 つの高等専門学校に対して遠隔授業を開始し、平成 17 年度には、e ラーニング高等教育連携に係る単位互換制度(特別聴講学生)により単位互換協定校の高等専門学校生に対して、「施設マネジメント特論」、「電子計算機応用特論」、「無機物性工学特論」の大学院科目、及び学部専門科目(資料 S-1-2-25-1～3)を提供している。

4 外国人学生との教育交流制度の整備

国際交流・連携を推進するために、室長 1 名、室員 1 名と事務職員が一体となった「国際交流室」を平成 16 年 4 月に設置(資料 S-1-2-1-1～3)した。また、インドネシア・バンドン工科大学内に「サテライト・オフィス」を設置(資料 S-1-26-1～3)し、海外技術科学教育支援の拠点として使用している。

事業として、国際交流室と留学生センターにおいて、平成 16 年度に韓国技術教育大学との協定に基づいて、同校学生等を夏期休暇期間の 17 日間に渡り引き受けて技術教育を行うサマースクールを開講し、平成 17 年度も引き続き開講(資料 S-1-27-1～2)している。

また、大学間交流協定を締結している短期留学生については、「特別聴講学生・研究生」として受け入れ(資料 S-1-2-28-1)ている。

5 他大学学生に対する教育サービスの充実

愛知大学とは平成 13 年以来単位互換協定を結び(資料 S-1-2-25-1)相互の学生を受け入れているが、平成 17 年 4 月に包括的協定(資料 S-1-2-3-1)を結び、教員が相互の大学で出前講義を実施するなど一層活発な教育交流を図ることとなった。愛知県内の 55 大学間でも単位互換協定が結ばれ(資料 S-1-2-25-1)、本学でも他大学学生への教育サービスを実施している。また、平成 16 年度より工科系国立大学 12 校間の単位互換協定(資料 S-1-2-25-1)に基づく遠隔授業の配信を実施している。

資料 S-1-2 *教育サービスの目標・計画に対応する活動等一覧

資料 S-1-2-1-1～3 *管理運営組織図(17.4 月現在)他

資料 S-1-2-2-1～5 *国立大学法人豊橋技術科学大学サテライト・オフィス規程他

資料 S-1-2-3-1 *地域連携に係る協定一覧

資料 S-1-2-4-1～4 *公開講座実施状況(<http://www.tut.ac.jp/educ/ed17/>)他

資料 S-1-2-5-1～4 *オープンキャンパス 2005(<http://www.tut.ac.jp/intr/in01/in0112/index.htm>) 他

資料 S-1-2-6-1～4 *附属図書館の概要等について他

資料 S-1-2-7-1～4 *現代的教育ニーズ取組支援プログラム(<http://www.tut.ac.jp/Frame99/gp/gp.htm>)他

資料 S-1-2-8-1～3 *平成 16 年度豊橋技術科学大学技術セミナー実施要項他

資料 S-1-2-9-1～4 *平成 16 年度公開講座ミニ大学院アフターファイブコース実施要項他

資料 S-1-2-10-1～3 *平成 16 年度公開講座技術者養成研修実施要項他

資料 S-1-2-11-1～2	* 第 25 回集積回路技術講習会 (http://www.dev.eee.tut.ac.jp/ic/) 他
資料 S-1-2-12-1	* 科目等履修生受入実績
資料 S-1-2-13-1～4	* サイエンス・パートナーシップ・プログラム(SPP)事業他
資料 S-1-2-14-1～2	* 豊橋技術科学大学化学公開講座(04) 概要他
資料 S-1-2-15-1～2	* 平成 16 年度「Jr .サイエンス講座」実施要領他
資料 S-1-2-16-1～2	* 平成 14 年度工業高等学校教員向け技術講習会実施要項他
資料 S-1-2-17-1	* 豊橋技術科学大学情報講習会実施結果
資料 S-1-2-18-1～3	* 東三河地域防災研究協議会構成図他
資料 S-1-2-19-1～2	* 東三河懇話会活動内容他
資料 S-1-2-20-1	* 平成 16 年度市民大学講座の実施について
資料 S-1-2-21-1	* 県立岐阜商業 SBH(目指せスペシャリスト事業)特別講義
資料 S-1-2-22-1～2	* 愛知県生涯学習講座講師登録者名簿他
資料 S-1-2-23-1～6	* 高等専門学校体験実習生受入要領他
資料 S-1-2-24-1～4	* 高専教員の研修(http://www.tut.ac.jp/intr/in02/in0201/index.html) 他
資料 S-1-2-25-1～3	* 単位互換協定一覧(平成 17 年 4 月 1 日現在) 他
資料 S-1-2-26-1～3	* インドネシア海外事務所を開設 (http://www.tut.ac.jp/cgi-bin/aup200p/display.cgi?id=43) 他
資料 S-1-2-27-1	* 豊橋技術科学大学 04 サマースクール実施要領(「平成 16 年度豊橋技術科学大学サマースクール報告書」他
資料 S-1-2-28-1	* 大学間交流協定による留学生の受入状況(特別聴講学生・研究生)

【分析結果とその根拠理由】

一元的・合理的に事業の計画, 実行, 改善を行う「地域連携室」, 「高専連携室」及び「国際交流室」の設置, 大学情報の発信, 教育サービスの質の向上を支援するためのサテライト・オフィスの設置及び 3 つの自治体と私立大学との包括協定の締結と「協議会」の設置により地域社会への貢献, 高等専門学校との連携, 外国の大学等との交流・連携を強化するための体制を整備した。

地域社会への貢献に係る教育サービスの活動に対しては「地域連携室」が核に, 高等専門学校との連携に係る教育サービスの活動に対しては「高専連携室」が核に, 外国の大学等との連携に係る教育サービスに対しては「国際交流室」が核となり, 充実した教育サービスの活動が円滑に推進され, 計画に基づいた積極的な活動が行われている。

観点 1 - 3 : 活動の結果及び成果として, 活動への参加者が十分に確保されているか。また, 活動の実施担当者やサービス享受者等の満足度等から判断して, 活動の成果が上がっているか。

【観点に係る状況】

本学は, 社会に開かれた大学として, 創設以来, 社会貢献に力を入れており, 様々な教育サービスを実施してきた。最近取組を始めた教育サービスの活動については, (資料 S-1-2-23-3) のとおり, 十分に参加者が確保されているが, 長期にわたって, 続けている公開講座や技術研修については, 募集定員を下回る例(資料 S-1-2-4-3, S-1-2-8-2, S-1-2-10-2)もある。または参加者が以前と比較して減少する傾向(S-1-2-5-3)が見受けられたため, 今後, 教育サービスの内容・募集定員の設定, PR の方法等について検討していくこととしている。

各教育サービス活動の成果の検証と改善等のために、原則、参加者等からアンケート調査を行うこととしており、(資料 S-1-2-4-4, S-1-2-10-3, S-1-2-13-4, S-1-2-14-2, S-1-2-15-2, S-1-2-23-4~6, S-1-2-24-3~4) のとおり、アンケート調査の結果から、全般的に見て、各活動に対して、おおむね満足している。

【分析結果とその根拠理由】

参加者等の満足度は、アンケート調査の結果からも、おおむね良好であることから、活動としての一定の成果は上がっていると判断する。なお、参加者の確保の面では、長期にわたって続けてきた公開講座等において募集定員を下回るなどの傾向があり、対策を検討している。

観点 1 - 4 : 改善のためのシステムがあり、機能しているか。

【観点に係る状況】

教育サービスの改善を図るため、地域連携室、高専連携室及び国際交流室が中期計画に基づいて、企画・立案を行い、適宜、アンケート調査等を実施するなどして、活動の状況や問題点を把握することとしている。実施された教育サービスに対しては、原則的にアンケート調査を行うこととしている。高専連携事業では高専連携室のホームページ (<http://jughead.tutrp.tut.ac.jp/kousen/>) や本学卒業生の高等専門学校教員によるメーリングリストを通して直接、高等専門学校教員や学生の意見を聞くことにより、問題点を把握、分析し、改善策を検討している。地域連携事業及び国際交流連携事業については、アンケート調査結果を分析し、教育サービスの改善を図っている。また、地域連携室は各系に配置された連絡員(資料 S-1-2-1-2)により、国際交流室は国際交流委員会委員(資料 S-1-2-1-1)を通じて各教員からの意見の収集にあたり、それぞれフィードバックするシステムとなっている。

また、平成 17 年 3 月から 4 月にかけて締結した本学と豊橋市、田原市、鳳来町、愛知大学との連携に関する包括協定に基づいて、本学と地方自治体等の両者からなる協議会を設置(資料 S-1-2-3-1)し、地域社会への教育貢献について具体案を協議しており、各種活動の改善システムの一つとして、機能させることとしている。

【分析結果とその根拠理由】

地域社会への貢献、高等専門学校との連携、外国の大学等との交流・連携に係る教育サービスについては、地域連携室、高専連携室及び国際交流室等において、アンケート調査結果、ホームページや本学卒業生のメーリングリストを通じて教員、学生等から直接意見を聞くなどして、問題点を把握、分析し、改善策を検討している。さらに、本学と豊橋市、田原市、鳳来町、愛知大学との連携に関する包括協定に基づいて、本学と地方自治体等の両者からなる協議会を設置し、地域社会への教育貢献について具体案を協議している。地域連携室、高専連携室及び国際交流室を中心として正規課程学生以外の教育サービスに関する総括的な改善システムが構築されている。

(2) 優れた点及び改善を要する点

【優れた点】

「地域連携室」、「高専連携室」及び「国際交流室」を設置し、一元的・合理的に事業の計画、実行、改善を可能とするとともに、「サテライト・オフィス」を国内外に設置し、大学の情報の発信、教育サービスの質の向上を支援したこと、さらには、3つの自治体と私立大学との包括協定を締結し、強力な連携体制が確立し、地域社会への貢献のための体制を整備した点、また海外大学との交流協定に基づく短期留学生受入れやサマースクールの

開校など外国大学に対しても定期的なサービス体制を確立している点は優れている。

社会人に対して、技術科学大学という特色を生かし、ICチップの設計・試作を行う国内には類を見ない「集積回路技術講習会」など企業等の技術者・研究者への教育サービス、地元2高校の2年生全員が本学で最新の研究を体験する「サイエンス・パートナーシップ・プログラム事業」、「理科・数学離れ」、「ものづくり離れ」等の課題に対応した「化学公開講座」、豊橋市教育委員会と共催の「Jr.サイエンス講座」の実施など高校生等への理科教育の威力を伝える教育サービスを実施している点は優れている。また、本学に宿泊して2週間先端的研究を体験する「高等専門学校体験実習」、出前講義など高等専門学校生への学習意欲の向上を図る教育サービスを活発に行っている点は大いに評価される。

地域社会に対する教育サービスとしては、平成17年6月から豊橋市図書館と連携協力し、一般市民の図書館利用の機会を増大している点は優れている。また、本学を研究担当機関とする「東三河地域防災協議会」と連携して防災に関する各種事業を実施し、教育・研究活動を通して地域に密着した防災事業に参画している点、今までにない新たな取組みとして、地域の課題を取り上げた卒業研究テーマを一般市民から募集(公募型卒業研究)し、卒業研究により地域の課題を解明することにより、地域社会の地域の活性化に貢献している。

【改善を要する点】

特になし。

(3) 選択的評価基準の自己評価の概要

正規課程の学生以外に対する大学の教育サービスの目的は、中期目標に明示され、それを達成するための計画や具体的方針は中期計画及び年度計画として定めている。これらを全職員が構成員である職員連絡会で説明、ホームページに掲載、大学概要及び大学案内(冊子)に明示し配付することにより、学内外関係者に対して周知している。

市民を対象とする「地域連携室」、高専を対象とする「高専連携室」、外国の大学を対象とする「国際交流室」を設置し、正規課程の学生以外に対する教育サービスの充実を図るための体制を整備した。また、豊橋市、田原市、鳳来町、愛知大学との包括協定を締結し、地域社会への教育貢献を推進するとともに、豊橋駅前に「サテライト・オフィス」を設置し、市民に対する大学情報の発信と教育サービスを行っている。さらに、eラーニング、各種講習会、出前授業、体験実習生受入れなど高等専門学校等に対する教育サービスを活発に行うとともに、海外大学との交流協定に基づく短期留学生の受入れやサマースクールの開校など外国大学に対しても定期的なサービス体制を確立している。また、インドネシア・バンドン工科大学内に「サテライト・オフィス」を設置し、海外技術科学教育支援の拠点として使用している。

技術科学大学という特色を生かし、ICチップの設計・試作を行う国内には類を見ない「集積回路技術講習会」など企業等の技術者・研究者への教育サービスを行っている点、地元2高校の2年生全員が本学で最新の研究を体験する「サイエンス・パートナーシップ・プログラム事業」、「理科・数学離れ」、「ものづくり離れ」等の課題に対応した「化学公開講座」、豊橋市教育委員会と共催の「Jr.サイエンス講座」の実施など高校生等への理科教育の威力を伝える教育サービスを実施している点は優れている。また、本学に宿泊して2週間先端的研究を体験する「高等専門学校体験実習」、出前講義など高等専門学校生への学習意欲の向上を図る教育サービスを活発に行っていること点は大きく評価される。

地域社会に対する教育サービスとしては、平成17年6月から豊橋市図書館と連携協力し、一般市民の図書館利用の機会を増大している点は優れている。また、本学を研究担当機関とする「東三河地域防災協議会」と連携して防災に関する各種事業を実施し、教育・研究活動を通して地域に密着した防災事業に参画している点、今まで

にない新たな取組みとして、地域の課題を取り上げた卒業研究テーマを一般市民から募集(公募型卒業研究)し、卒業研究により地域の課題を解明することにより、地域社会の地域の活性化に貢献している。

教育サービスに対する参加者等に対するアンケート調査の結果からも、おおむね満足しているとの回答を得ていることから、活動としての一定の成果は上がっていると判断する。

改善のシステムの点では、長期にわたって続けてきた公開講座等において募集定員を下回るなどの傾向があり、対策を検討していること、また、アンケート調査結果、ホームページや本学卒業生のメーリングリストを通じて教員、学生等から直接、意見を聞くなどして、各室等において教育サービスに関する問題点を把握、分析し、改善策を検討していることから、機能していると判断している。

以上のことから、技術科学大学の特色を活かし、国内及び国際社会に開かれた大学としての教育サービスを行っており、目的を十分に達成していると判断する。

(4) 目的の達成状況の判断

目的の達成状況が非常に優れている。